



広報

ごじょうめ

昭和61年

6月15日

(毎月1日・15日発行)

No. 542

特定目的住宅には車イス用のスロープも設けられています



(一 報紙中にある写真を欲しい方に
おあげします)

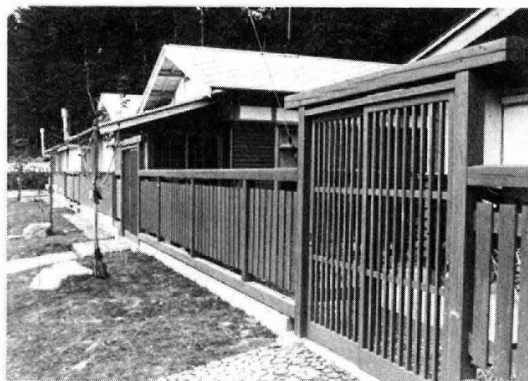
秋田杉の柱と羽目板そして白壁、その住宅を囲む板塀と格子戸。矢場崎住宅団地の東側一角に完成した五戸の公営住宅は、木造一戸建。それぞれの住宅の美しさ、居住性のよさだけでなく、一つの街並としての景観も配慮して設計されています。

建設には、町内の職人が一丸となつてあたり、町内から産する資材を十分に活用。一八〇ミリの角の大黒柱、厚さ四〇ミリの床板、木製サッシなど、木材をふんだんに使用し、木造の快適な住み心地を追求したつくりになっています。

完成した住宅は、第一種(3LDK)一戸、第二種(2LDK)三戸、特定目的用(2LDK)一戸。今後、矢場崎住宅団地には、このような公営住宅が十五戸建設され、一年後には二十戸になる計画です。

矢場崎公営住宅

町の施設



発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100(代)

印刷／湖東印刷所 ☎ 0188 (52) 2430

"あいさつ運動モデル道路、設定

みんなで「おはよう」「さようなら」



「あいさつ運動モデル道路」となった今町通り

町教育委員会では、通学路の数区間を「あいさつ運動モデル道路」に設定し、日常のあいさつを通して青少年の健全育成を推し進めていくことにしました。この道路は、児童生徒が通学に最も利用する通りで、心の教育の場となることを期待して設定したものです。あいさつは心づかれあう第一歩です。町内の皆さんも子供たちに「おはよう」「さようなら」と積極的に声をかけてください。

通学路を心の教育の場に

あいさつ運動モデル道路は、五城目小学校から御蔵町の小浜薬局までの小学校通りと今町通り。また、五城目第一中学校から田町の国道二八五号線交差点までと坊村橋までの通学道路、それに田町通りとなっています。

町の長期総合発展計画の中には、青少年の健全育成のため「愛の一声、一ふれ運動」を全町的に展開させるとし、その具体策として「あいさつ道路」の設定を提唱しています。また、県が示した学校教育共通実践課題として「心の教育」の推進が上げられています。あいさつ運動モデル道路の設定は、総合発展計画の具体化だけでなく、このような社会的状況を踏まえて、あいさつ運動推進事業の一つとして行うものです。

運動推進のため、小玉教育長を委員長とする「あいさつ運動推進委員会」が組織され、六月三日、役場で最初の会議が開かれました。会議では、あいさつ運動モデル道路の設定、推進組織などについて確認したほか、今後の活動内容について協議しました。

同委員会では今後、キャッ

チフレーズやシンボルマークを募集するほか、年三回強調句間を設定するなどPRに努め、この運動の輪を全町の規模にまで広げたいとしています。強調句間では、あいさつ運動モデル道路の標語板設置、標語やポスターの募集、県事業と連携しての体験発表などを行う計画です。

あいさつ運動推進委員

(敬称略)

▽委員長 小玉甚一(教育長)
▽副委員長 柴田次雄(五城目小学校長) 伊藤義男(五城目一中校長)
▽委員 秋本亀俊(五城目小生徒指導主事) 宮城静夫(五城目一中生徒指導主事) 村上栄(五城目小PTA校外生活部長) 阿部孝順(五城目一中PTA会長) 石井俊(五城目小児童会代表) 鎌田有希子(同) 笹川潤(五城目一中生徒会代表) 加賀谷広美(同) 原田満(新里町町内会長) 佐々木勝太郎(広ヶ野町内会長) 伊藤和三郎(希望ヶ丘町内会長) 川辺末吉(上田町町内会長) 荒川善一郎(田町町内会長) 小浜寅雄(今町町内会長) 館岡力己(上高崎町内会長) 伊藤二郎(下山内町内会長) 小林ツヤ子(家庭教育学級生代表) 下坂幸子(同) 海山礼司(町駐在指導主事) 小野博(社会教育課) 坂谷晃(同) 畠山啓作(学校教育課) 石井浩(同) 川上哲也(同) 猿田玲子(同)

一般町民の協力必要

川辺末吉さん(上田町町内会長)



「あいさつ」を通して子供たちの健全育成を図ることは、大変よいことだと思えます。ただ、決められた場所だけであいさつをすればよいと誤解されないように、先日の会議で「モデル」という言葉を入れて「あいさつ運動モデル道路」という名称になりました。あいさつは学校でも力を

入れて指導しており、小学生も中学生も大変よく実行しています。ですから、この運動を進めるにあたって心配なのは、一般町民が子供たちにあいさつをしにくれるかということです。大人が手本を示さなければ、この運動は成功しないと思います。特にモデル道路の通っている町内の皆さんのご協力をお願いします。私も、あいさつ運動推進委員会の委員として、あいさつ運動のPRや、モデル道路でのあいさつの実践状況を調査するなど、運動推進のお役に立ちたいと考えております。

私たちの「あいさつ」に

こたえてもらえるか不安

加賀谷広美さん(五城目第一中学校)

あいさつは、知っている人に対してや、友だち同士なら簡単なことで、実際毎日行っています。生徒会でも学校の入口に「あいさつをしましょう」というはり紙をして、みんなに呼びかけています。

しかし、知らない人、特



三上画伯が講演と実演 馬の墨絵に会場から拍手



馬の絵を一気に書き上げる三上画伯

三上隆彦画伯（七十歳）の講演と実演会が、六月九日、役場正庁で町内の美術愛好者など約百五十人が出席して開かれました。

三上氏の創作は、油絵を主体に水彩画、墨絵、陶器と多彩。米國、ヨーロッパなど海外で十六年間生活しており、その間、テレビで絵画の指導番組を担当するなど国際的に活躍されています。また、日輝会美術協会会長を務められ、美術品に触れる機会の少ない地方に会員の作品を寄贈する活動も行っています。

講演は「文化の交流」と題して約一時間行われました。内容は、アメリカ、フランス、

ドイツでの生活体験をもとにしたもので、話の中には米國正副大統領、大使、大学学長なども登場し、氏の交際の広さ、国際人としての活躍がしのばれました。

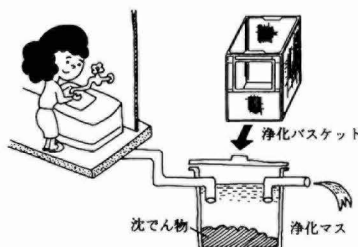
続いて墨絵の実演が行われ、一時間ほどの間に、墨絵の概念から筆、墨の使い方の基本について説明。出席者の中にはメモをとる人もあり、あざやかな筆さばきに感嘆の声も。最後に、氏が得意とする馬の描き方を披露。躍動感あふれる馬が、一気に書き上げられると、出席者からおもわず拍手が起りました。

なお、画伯は九月二十七日、再度来町の予定です。

環境保全と緑豊かなまちづくりのために

浄化マスの設置を 排水は浄化してから

生活環境の保全のため、生活排水は浄化マスを通して排水路に流すようにしてください。



生活排水は浄化マス、
浄化バスケットで浄化を

浄化槽は毎年検査を 定期点検・清掃も大事

昨年の十月から浄化槽法が施行され、次のことが義務づけられています。

① 浄化槽は毎年一回必ず県の指定した検査機関の検査を受けること

② 浄化槽は定期的に保守点検と清掃を行うこと（保守点検は県に登録した保守点検業者と委託契約を結ぶこと）

住宅を新築する場合はもちろんですが、既存の住宅にも浄化マスと浄化バスケットを設置するようにしてください。浄化マス、浄化バスケットについての問い合わせは、役場建設課（☎52-2100）へ。

置工事はもちろんですが、日ごろの保守点検や清掃が特に大事です。地域の生活環境保

全のため、保守点検契約を結ぶとともに、必ず定期検査を行ってください。

詳しいことは、秋田保健所（☎33-8521）へ。

生垣づくりに奨励金

建設課で申請の受付

緑豊かな町づくりのため、新たに生垣を植えた場合、に、町では奨励金を交付しています。奨励金交付の申請は、随時、役場建設課で受け付けています。

▽申請書類

事業計画書、奨励金交付申請書（用紙は建設課で）

▽奨励金

生垣延長一メートル当たり五百円

表彰

厚生大臣特別表彰に 二方さん 畑沢さん 松橋さん

民生児童委員に対する厚生大臣特別表彰の伝達式が、五月十四日、県庁正庁で行われ、本町から二方シワさん、畑沢一視さん、松橋正之助さんの三人が表彰されました。

二方さんと松橋さんは昭和二十八年から、畑沢さんは二十六年から民生児童委員を務められており、長年にわたるその活動が認められたものです。

また、二方さんらは、民生委員功労として、すでに秋田県知事表彰と全国民生児童委員協議会会長表彰を受けています。

に大人の人对しては別です。

「あいさつ運動モデル道路」を定めても、私たちのあいさつに大人の人がこたえてくれるかとても不安です。大人の人があいさつをしてくれないと、私たちの方でも、どうせ一方的なあいさつだからと考え、だんだんあいさつをしなくな

るような気がします。

「あいさつ運動モデル道路」の効果がどれくらいあるかわかりませんが、あいさつ運動推進委員会の委員に選ばれたからには、自分自身積極的にあいさつするよう心がけたいと思います。生徒会の方でも会議を開いて、あいさつ運動推進のために協議すると思います。



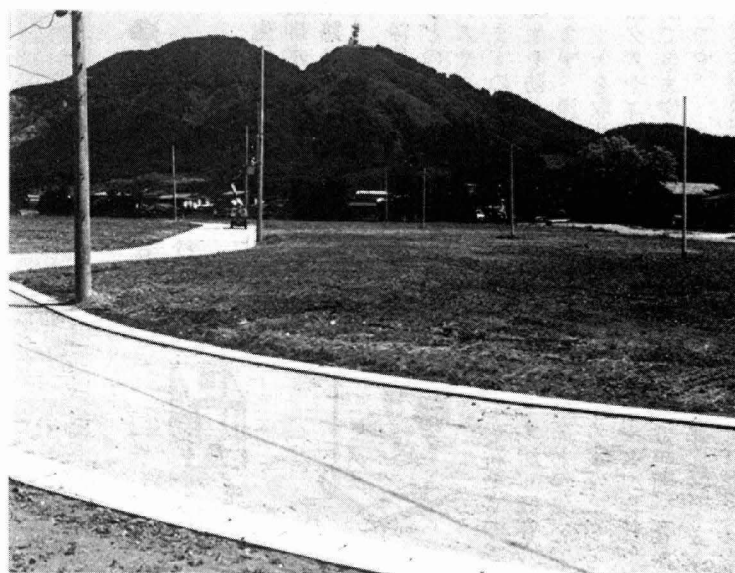
松橋正之助さん
（浅見内・69歳）



畑沢一視さん
（湯ノ又・61歳）



二方シワさん
（紀久栄町・66歳）



分譲している矢場崎住宅団地の第2期造成地

矢場崎 住宅団地

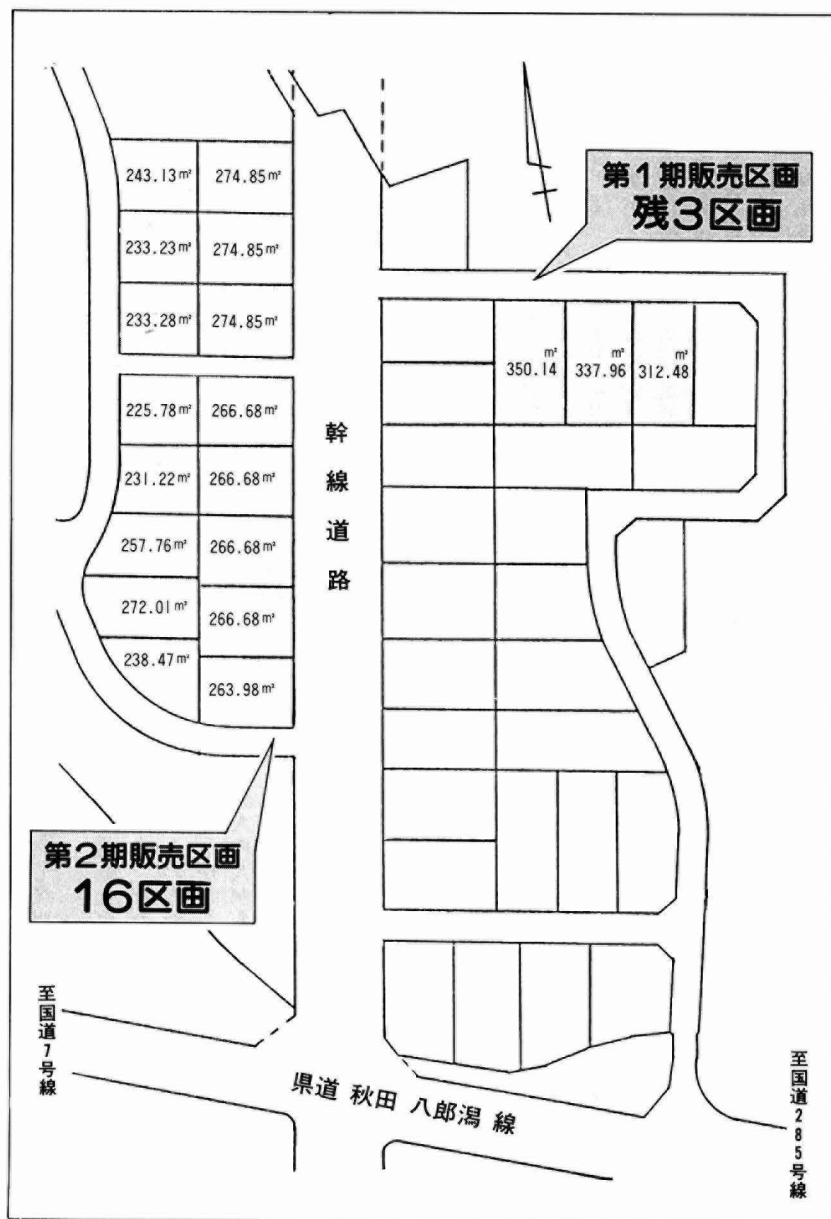
第二期 造成地 16区画を分譲

申し込み順に販売

価格 3.3 平方
メートル 6万3千円

町と五城目町開発公社では、矢場崎住宅団地の第二期造成地を分譲しています。購入の申し込み、分譲地についての問い合わせは、役場建設課（☎5212100内線2252）と町開発公社（☎5212100内線2392）で受け付けています。

矢場崎住宅団地区画図



矢場崎住宅団地は、地域住宅計画（HOPE計画）のモデル地区として計画的に整備されており、幅十八メートルの幹線道路東側にはすでに三十二区画の分譲地を造成し、

二十九区画が分譲済みとなっています。また、木造一戸建公営住宅五戸を建築しており、同団地については、県内外からの問い合わせも多く、町と開発公社では、宅地の需要に応えるため第二期分譲地の造成を急いでいました。

今回分譲する宅地は、幹線道路の西側約四〇九〇平方メートル十六区画。分譲地内には上水道が引き込まれており、消火栓や排水路も整備されています。また、公園、緑地を確保しているほか、幅六メートルの道路で区画しているの

で、私道を設ける必要はありません。分譲価格は三・三平方メートル（一坪）六万三千円で、それぞれの分譲地価格の二〇パーセントを頭金として購入できます。十六区画の平均面積は、約二五五平方メートル（七七・三三坪）。最大区画二七四・八五平方メートル、最小区画二三三・二八平方メートル。

分譲の対象は住宅を建築する人となっていますので、町内の皆さんだけでなく、町外の方も申し込むことができます。

す。しかし、不動産業に利用する方は対象外です。販売の決定は申し込み順に行われますので、購入を希望する方はお早目に申し込んでください。また、第一期造成地の残り三区画も引き続き販売していますので、希望の方は申し込んでください。

町では、購入についての融資や支払い方法などについて相談に応じますので気軽に連絡してください。矢場崎住宅団地についての問い合わせは、役場建設課か町開発公社まで。

庁舎ギャラリーご案内



荒川さんの油絵を展示

庁舎玄関ロビーでは、6月1日から荒川悦一さん（古川町）の油絵21点を展示しています（写真）。展示期間は6月いっぱい。7月からは、うちわ、扇を素材とした中村清次郎さん（一番町）の書を展示する予定です。

馬城橋

架替工事7月から

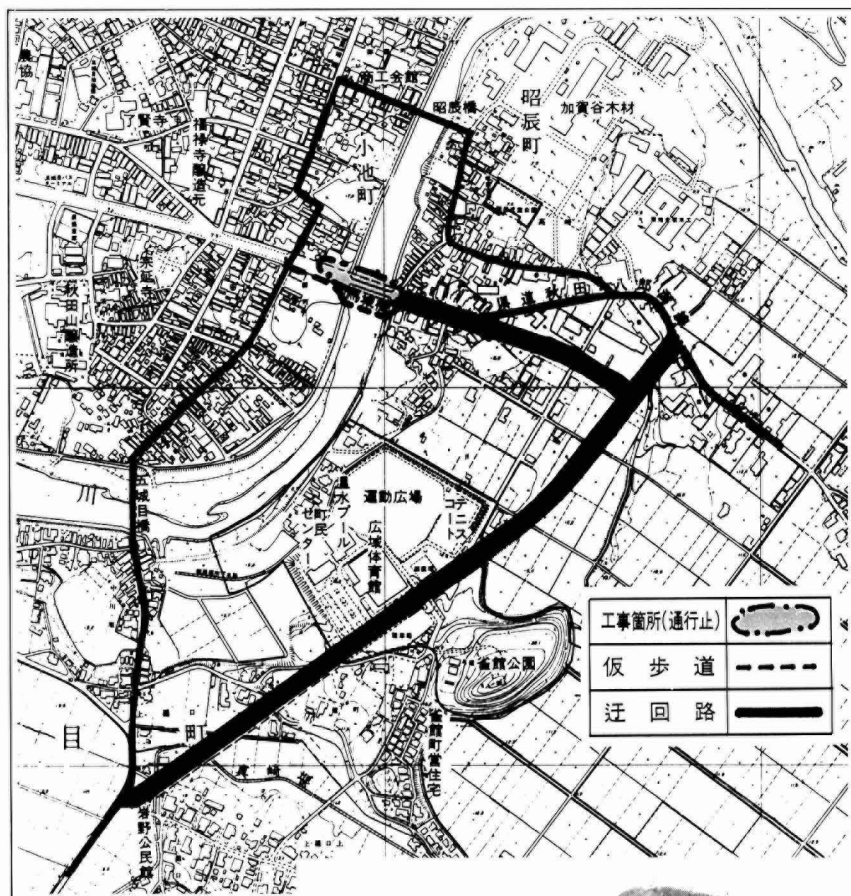
来年11月まで通行止め

県道秋田八郎潟線（都市計画道路中央線）の新町・昭辰町間の馬城橋は、架替工事のため七月一日から来年の十一月三十一日まで全面通行止めになります。

工事期間中は、車は迂回路として昭辰橋、五城目橋、磯ノ目大橋を利用してください。ただし歩行者は、現在の橋の下流側に設置する仮歩道橋を利用できます。

また、秋田中央交通（株）の
 路線バス馬場目線は、新町の交差点から一番町、上樋口、広域体育館前を通る迂回路の路線に変更される予定です。
 △工事期間 昭和六十一年七月一日～昭和六十二年十一月三十一日
 △工事概要
 橋長 五六・〇メートル
 幅員 十八・八メートル
 △工事担当
 秋田土木事務所都市計画課
 ☎60-2454

馬城橋通行止めによる迂回路



五城目第二・第三投票区 投票所が変わります

次回の選挙から投票所が変わります。変更になるのは、五城目第二投票所（役場市民談話室）と五城目第三投票所（五城目幼稚園）です。

の二カ所です。投票所とその該当町内名は次のとおりです。

▽五城目第二投票所 （五城目幼稚園）

古川町 紀久栄町
 新町 一番町
 矢場崎 東磯ノ目町
 西磯ノ目町
 五城目第三投票所
 （五城目幼稚園）
 新畑町 小池町
 川原町 雀館
 昭辰町 仲町
 長町

ボーナスの出世コースは

しんきんの

優 期日指定定期預金

まごころかよう



五城目信用金庫



本店 ☎52-2115代・八郎潟支店 ☎75-2544代・若美支店 ☎0185-46-2315代・鮎島支店 ☎45-8024代



架け替えられることになった馬城橋



公的年金は 世代間の助け合い

生命保険会社が売り出している年金、郵便局が行っている郵便年金は個人年金です。そして、国民年金などは、国が制度として行っているもので、公的年金です。公的年金は世代間の助け合いの制度ですから、物価が上がればそれに応じて年金額も上がるといふ物価スライドの仕組みがあり、このことが個人年金と大きく違うところです。

公的年金と個人年金の比較

もスライドを行っています。

公的年金

・加入
国民に加入が義務づけられています。国民年金は、国民が二十歳から六十歳に達するまで加入し、共通の基礎年金を受給します。

保険料

保険料のほかに、基礎年金に必要な費用の三分の一の国庫負担があります。また、運営に必要な事務費は全額国が負担しています。少ない保険料でより大きな年金が得られます。

年金額

物価が上昇（消費者物価指数が年五%以上）すれば、年金額も自動的に上昇する物価スライド制があります。また、生活水準や経済情勢等の変動に応じて年金額が改定されますので、将来にわたって年金額の目減りの心配はありません。（実際は五%の物価上昇がなくと

個人年金

・加入
生命保険会社等で販売している商品ですので、加入も脱退も自由です。さらに豊かな老後設計に活用するこ

とが望ましいです。

保険料

企業として運営しているため、保険料の中から事務費や利益などを差し引き、残りが年金として支払われています。したがって、保険料は負担額が高くなっています。

年金額

契約時において将来受け取るべき年金額を決定します。物価上昇による経済情勢の変化に対応できません。また、毎年受け取る年金額が上がっていくタイプもあり、これも預金の運用利率が基本となっており、物価が利率以上に上昇すると価値の目減りは避けられません。



献血ありがとうございます



献血車による献血が、五月三十日、町内五カ所で行われ、百人以上の皆さんが協力してくれました。また、今回からは四〇〇ミリリットル献血制度が導入され、三十一人の方が四〇〇ミリリットル献血に応じてくださいました。（敬称略、印四〇〇ミリリットル献血者、数字は献血回数）

小畑	畑沢	安田	石井	安田	石井	田原	金野	秋山	田仲	児玉	越前	伊藤	猿田	館岡	沢田
武博	正英	邦彦	修子	カネノ	五兵衛	仁	政志	るり子	寿	英一	直人	清	仁	敦	石栄
24	3	2	5	6	16	20	9	2	23	24	13	25	17	28	2
小玉	鈴木	松橋	畠山	猿田	小玉	斉藤	佐々木	伊藤	佐々木	佐藤	朝野	猿田	本間	小玉	三浦
康一郎	秀紀	一彦	ひろみ	由美子	利春	安弘	幸雄	富喜子	敏	幸桜	暢稔	俊彦	敬悦	英己	正良
21	4	1	1	16	16	2	6	10	13	9	18	18	21	18	10
伊藤	長谷川	佐川	石井	小林	三浦	松橋	鳥井	館岡	半田	大石	浜野	安田	椎名	近江	沢田
百合子	国夫	俊雄	広巳	勉	忠子	兼己	浩己	与二郎	嘉比呂	正広	幸治	治己	耕一郎	ちどり	石栄
20	16	5	7	7	1	16	13	48	16	22	9	7	一郎	23	54
浜野	近江	加藤	小玉	畠山	阿部	鳥井	千葉	渡辺	石岡	武田	児玉	佐藤	伊藤	大森	誠治
貴子	安司	繁	一志	雄光	孝昭	孝一	千代美	鉄雄	孝司	秀雄	昇	秀樹	伝	誠治	郎
8	1	21	13	2	4	9	27	21	10	22	29	6	16	5	

笑顔で歯磨き涙はいらない

大川六区 加藤 恭子

ストーブ・風呂釜の 分解整備

早速参上

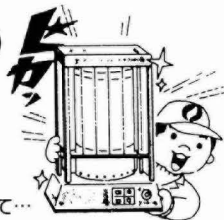


52-9497

信頼の炎を燃やして...



有限会社 三ツバ燃料



こころのふれあい、大切に.....

高津酒店

五城目町中央通り ☎ 52-2262

町内の話題

定期的に校庭の草刈り

湯ノ又ゲートボール同好会が奉仕

湯ノ又ゲートボール同好会（代表・沢田石五蔵さん）の皆さんが、四月二十六日、内川小学校で校庭の草刈りをしてくれました。

同会では、内川小学校のグラウンドや体育館を利用して、ゲートボールの練習を行い、全県大会でも好成績をあげており、そのお礼の意味も含めて、昭和四十四年から毎年春と夏の二回、この奉仕活動を行っています。

内川小学校では、清掃日と設けるなどして環境整備に力を入れており、お年寄りたち



校庭の草刈りを行う同好会の皆さん

られると喜んでいきます。このほか、同会のおばあさんたち（六人）は、年間、二百枚ものぞうきんを内川小学校に寄贈しています。

墓地公園に山桜を植樹

ボーイスカウト第30団

ボーイスカウト第三十団の皆さんが、六月八日、午前九時から墓地公園に山桜の苗木七十本を植え付けてくれました。

のボランティアに大変感謝しています。また、児童たちに奉仕の心を教え、少人数校の長所である地域との交流や、家庭内の結び付きが一層深め

この植樹は、環境週間（六月五日～十一日）にちなんで記念植樹で、町が県の募集に対して今年三月に応募したところ、本町を含む県内七市町村が選ばれたもの。苗木は、環境庁

から県を通じて町に送られてきました。

団員たちは、管理棟向い一帯に植樹した後、苗木の植えられた付近の草取りも行いました。また、今後苗木が成長するまで水かけなどをし、世話をしていくそうです。

町では、団員の皆さんの奉仕作業に大変感謝しています。

地域の環境美化に貢献

大川老人クラブの奉仕活動

大川地区老人クラブ（会長・北嶋兼太郎さん）の皆さんが、五月二十三日、大川の農村環境改善センター周辺の草刈りを行ってくれました。これは、毎年、春と夏の二

回行われており、同クラブの奉仕活動の一つとなっています。当日参加した会員は、会長の北嶋さん、奉仕部長の小野さんをはじめ三十八人。草刈り機械を二台持参し、作業は手ぎわよく進められました。また、大川若妻会（会長・佐藤レイさん）の皆さんも、六月七日、早朝の午前五時から同センター周辺の清掃を行ってくれました。

同センターは交通量の激しい国道沿いにあり、町外の人たちの目に触れる機会が多い施設です。皆さんのこうした奉仕活動は、環境美化の面で大川地区のイメージアップに大いに貢献しています。



第20回南秋田郡卓球選手権大会

6月1日 広域体育館

（町内関係分）

▽中学一、二年男子準決勝
佐々木 長谷川

（五一中）2-1（五一中）

千田 2-1（五一中）
（羽城中）

▽同決勝
佐々木 2-0 千田

▽中学三年男子準決勝
島山 2-1 和田

（五一中）2-1（五一中）
沢井 2-1 松橋

（羽城中）2-1（五一中）
▽同決勝
沢井 2-0 島山

▽中学男子ダブルス準決勝
大原 菅原

伊藤 2-0 千田
（五一中）

沢井 2-1 島山
菅原靖（五一中）

▽同決勝
大原 2-0 沢井

▽一般男子決勝
三戸 千田

（八郎潟）2-0（五城目）
町役場

▽同女子
近野 猿田

（五城目）2-1（五城目）
▽家庭婦人決勝
近野 猿田

（五城目）2-0（五城目）
▽五十歳代決勝
猿田 福島

（五城目）2-1（福島電気）
▽家庭婦人決勝
近野 猿田

▽三十歳代決勝
三戸 一関

（八郎潟）2-0（五松堂）
町役場

▽四十歳代決勝
猿田 渡辺

（猿田商店）2-0（渡辺時計店）
▽五十歳代決勝
猿田 福島

（五松堂）2-1（福島電気）
▽家庭婦人決勝
近野 猿田

（五城目）2-0（五城目）
▽家庭婦人決勝
近野 猿田

（五城目）2-0（五城目）
▽家庭婦人決勝
近野 猿田

（五城目）2-0（五城目）
▽家庭婦人決勝
近野 猿田



改善センター前の草刈りを行う大川老人クラブの皆さん

五城目町指定水道工事店
五城目町指定浄化槽施工店
給排水衛生設備工事・電気設備工事
浄化槽設備工事・冷暖房設備工事

富士電設株式会社

本社 52-3539(代)・52-3523
秋田支店 62-2919(代)

綿の打ち直し は当店へ
ふとんの再製

▶古い布団1枚にボンネル綿を混ぜ1枚を2枚に◀

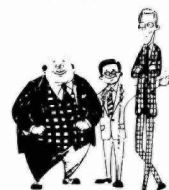
●サテンアンサンブル…1組…¥16,000～
●ザブトン…10枚…¥13,500～¥30,000
●Wアンサンブル…1組…¥22,000

＝お客様の御都合のよい時間にお伺いします＝

五城目町 沢田石わたや 沢田石 和子
内川湯ノ又 ☎54-2604

あなたの夢を仕立てます

システム
ハッピーオーダー
背広上下 ¥62,000より



より早く より安く よりきれいに
ママ号ドライクリーニング

荒峰洋服店 長町（共栄向い）
☎52-9625

カメラレポート



馬場目川を中心に清掃

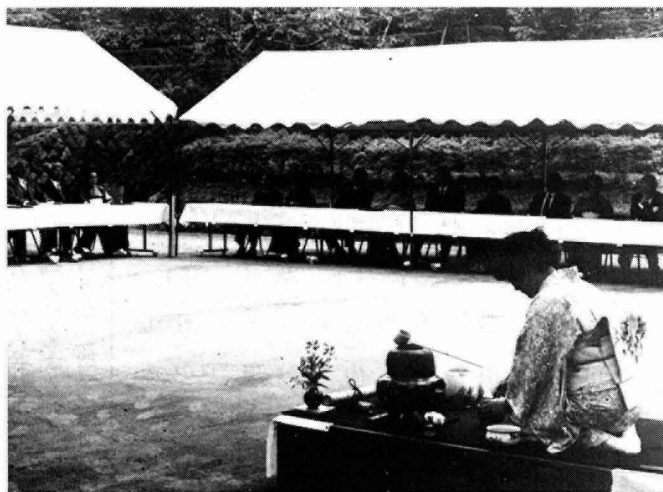
八郎湖クリーンアップ

八郎湖クリーンアップ作戦は、6月1日、湖周辺の13市町村で午前5時から一斉に行われました。

本町でも馬場目川を中心に清掃作業が行われました。クリーンアップに参加した皆さんは、川原や堤防を汚している空きビン、空きカン、ビニールのゴミ、木クズなどを熱心に拾い集めていました。



堤防のゴミを拾い集める西磯ノ目町内会の皆さん



雀館公園で開かれた茶会

功労者を招いて茶会

接待役は役場女子職員

町功労者、特別功労者を招いての茶会が、6月3日、雀館公園で開かれました。

この茶会は、本町発展に尽くし、功労者として表彰された皆さんの健康をお祝いし、これまでの労をねぎらうとともに、町政に対する意見をお聴きしようと開かれたもの。町功労者、特別功労者やその夫人など29人が出席しました。町からは町長夫妻をはじめ、町議会副議長、助役、収入役、教育長が出席。点前や後見をはじめ茶会の接待は役場の女子職員が務めました。

お知らせ

- ④ 農業に関する基礎知識、経験の有する者
- ③ 高等学校卒業、またはこれと同等以上の学力を有する者
- ② 昭和三十一年四月一日から昭和四十三年三月三十一日まで生まれた男子
- ① 昭和三十一年四月一日から昭和四十三年三月三十一日まで生まれた男子
- ▽ 経費
- ① 分担金 十五万円
- ② 研修負担金

- ▽ 必要経費
- ① 分担金 十五万円
- ② 研修負担金 五十万円
- ▽ 申し込み・問い合わせ先 県農政部普及教育課

- ▽ 派遣先と募集人数(全国)
- ・ アメリカ 五十人
- ・ カナダ 十五人
- ・ デンマーク 六人
- ・ スイス 八人
- ・ オランダ 四人
- ・ ニュージーランド 四人
- ▽ 募集締め切り 八月末日
- ▽ 応募資格
- ① 現在農業に従事し、将来も農業を行う者、あるいは農業者研修施設を卒業見込みで将来農業を行う者
- ② 昭和三十一年四月一日から昭和四十三年三月三十一日まで生まれた男子
- ③ 高等学校卒業、またはこれと同等以上の学力を有する者
- ④ 農業に関する基礎知識、経験の有する者
- ▽ 経費
- ① 分担金 十五万円
- ② 研修負担金

- ▽ 申し込み・問い合わせ先 県農政部普及教育課
- ① 分担金 十五万円
- ② 研修負担金 五十万円
- ▽ 申し込み・問い合わせ先 県農政部普及教育課

海外の農業を体験 派遣実習生を募集



男女雇用機会均等月間

- ・ アメリカ 二万五千元
- ・ カナダ 二十四万円
- ・ デンマーク・西ドイツ 五十三万円
- ・ スイス・オランダ 四十九万円
- ・ ニュージーランド 四十万円
- ▽ 申し込み・問い合わせ先 県農政部普及教育課
- ① 分担金 十五万円
- ② 研修負担金 五十万円
- ▽ 申し込み・問い合わせ先 県農政部普及教育課

女子の実習生を募集

スイスで農業を学習

次代の日本農業を担う女子青年を対象に、欧州派遣女子農業実習生を募集しています。派遣先はスイス。約一年間、農家で家政と農業を実習するほか、家政専門学校での研修などを行います。

- ▽ 募集人数 十二人(全国)
- ▽ 募集締め切り 八月末日
- ▽ 応募資格
- ① 現在農業に従事しているか、将来農業に従事することを希望する女子で、農業関係教育機関、農家などで二年以上の農業経験を有する者
- ② 昭和三十一年四月一日から昭和四十三年三月三十一日まで生まれた女子
- ③ 高等学校卒業、またはこれと同等以上の学力を有する者
- ▽ 必要経費
- ① 分担金 十五万円
- ② 研修負担金 五十万円
- ▽ 申し込み・問い合わせ先 県農政部普及教育課

本町が2種目の会場に

全県高校総合体育大会

第32回全県高校総合体育大会のバレーボール競技が、6月6日から9日まで広域体育館で行われました。また、レスリング競技は、五城目高校の体育館を会場にして開かれました。

全県総体はこれまで秋田市での集中開催でしたが、今年から中央、県北、県南の三地区持ち回りとなりました。中央地区開催の今年は、23種目を5市6町3村に振り分けられ、本町が2種目の会場となったものです。



バレーボール競技の会場となった広域体育館



先生の誘導で裏庭に避難する園児たち

地震想定し消防訓練

五城目幼稚園

日本海中部地震の惨事を教訓にと定められた「県民防災の日」の5月26日、五城目幼稚園で総合的な消防訓練が行われました。

この訓練は、地震が発生し出火したとの想定で、五城目警察署の協力を得て進められました。消防署からは消防ポンプ車3台、救急車1台が出勤、警報等の伝達、初期消火、火災防御、避難誘導、救助、救急など本番さながらの訓練が展開されました。

また、5月20日から26日までの「県民防災意識高揚強調週間」にあわせて21日、老人ホーム森山荘でも避難訓練が行われました。

お知らせ

保安講習会を開催

危険物取扱者を対象

危険物取扱者を対象に保安講習会が開かれます。これは、消防法が規定する危険物を取り扱う危険物取扱者に対して行うものです。

▽受講対象者
・危険物取扱者免状所持者で、当該取扱作業に従事することになった日から一年以内の従事者

・同免状所持者で前記の講習を受けた日から五年以内の従事者

▽受講日、会場
十月十六日(木)・十七日(金)
午前九時～午後四時半
秋田県正庁

▽申し込み期間
七月一日(火)～十九日(土)
受講対象者は、消防署にある受講申し込み用紙に記入し、受講料(テキスト代金)二千七百円を添えて、申し込んでください。

なお、詳しいことは消防署(☎52-2028)にお問い合わせください。

給食調理員を養成

母子家庭と寡婦対象

県では、社会福祉法人秋田県母子寡婦福祉連合会の協力で、母子家庭の母親、寡婦を対象に、給食調理員養成のための講習会を行います。

この講習会は、給食調理員の職業に必要な知識や技能を

習得させて、就労条件を有利にし、母子家庭や寡婦家庭の自立促進を図るものです。

なお、交通費は参加者負担、講習に必要な資料や昼食、受講料は無料です。

▽受講対象者 給食調理員を希望するおおむね二十五歳から五十歳までの母子家庭の母、寡婦

▽講習日時 六月三十日(月)～七月五日(土)
午前九時～午後五時

▽場所 秋田市手形住吉町四一・二六 秋田県母子福祉センター(☎33-4249)

▽申し込み締め切り
六月二十一日(土)
▽申し込み・問い合わせ先
五城目町役場住民課福祉係(☎52-2100)

新規学校卒業者の求人取り扱い説明

秋田公共職業安定所では、昭和六十二年三月新規学校卒業予定者(職業訓練校終了予定者を含む)を対象とする求人申し込み手続きについての説明会を開きます。

説明会では、学卒者に関する賃金情報などの参考資料や職業安定所で扱っている各種給付金、助成制度の資料を配付するほか「採用実務セミナー」も開催します。

▽日時 六月二十三日(月)
午後一時～四時
▽会場 秋田市文化会館
秋田市山王七三二

大河兼任のなぞ

⑥



雀館古代井戸（県史跡）

率浦郷と大河氏

小野 一二

森山・高岳山ラインが十世紀になっても、律令国家の北に対する国界だった。その麓近くを流れる大河（馬場目川）は、自然の防衛線であり、大河柵（石崎遺跡）は、この地方の国境防衛の拠点であった。

律令政府は、現地の住民を農民化するという辺境の開拓政策によって、国界を北方へおしあげていったのであるが、それが森山ラインでしばらく停滞したのであった。それだけ北方のエミシの抵抗が強かったという訳である。元慶の乱も起るべくして起きたといえる。大河柵のまわりには、は

入り守備隊と行動を共にした。城柵に近い田夷、俘囚の村は、そのようなフロンティアの村であった。

元慶の大反乱の後、政府はエミシの要求を大幅に入れ、俘囚・田夷に自治権のようなものを与えたと思われる。そうしなければ、都から遙かな辺境の開拓は不可能であった。すでに八世紀末に秋田城移転を心配した志良須・宇奈古のような俘囚長が存在していたし、元慶の乱では守備隊と共に戦った俘囚部隊もあったはずである。

天慶二年（九三九）、また俘囚が反乱し秋田城に乱入しているが、これは関東の平将門の乱に呼応しての行動ともいわれる。俘囚の力は、広域的に行動するほど成長していて、十一世紀には山北（県南）に俘囚主清原氏が（大勢力）をはるようになっていた。

その後、郡郷制によって十世紀には率浦郷がおかれた。これが当時の日本海側最北の郷だったことは前に書いた。大川西野には「田屋」の字名がある。開拓の村で出作のために設けた小屋を田屋という。これは古代の農業形態を今に伝える地名と考えられる。そして国境が不穏の場合、村人は柵内に

7月ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜 日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今 町、御蔵町、小池町、川原町、新 町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋 口、岩城町	3 日・7 日・10 日・14 日・17 日 21 日・24 日・28 日・31 日
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川（1 区～4 区）	1 日・4 日・8 日・11 日・15 日 18 日・22 日・25 日・29 日
大川（1 区～4 区以外の地区）、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	2 日・5 日・9 日・12 日・16 日 19 日・23 日・26 日・30 日
	月・木 火・金 水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今 町、御蔵町、小池町、川原町	12 日・第 2 土	26 日・第 4 土
新 町、一番町、古川町、紀久栄町、館 町、中川原、樋 口、岩城町	11 日・第 2 金	25 日・第 4 金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎	10 日・第 2 木	24 日・第 4 木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川（1 区～4 区）	9 日・第 2 水	23 日・第 4 水
大川（1 区～4 区以外の地区）、森山地区、馬川地区	8 日・第 2 火	22 日・第 4 火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	14 日・第 2 月	28 日・第 4 月

注 意 ・台所のごみ（もえるごみ）は必ずよく水切りをしてから出してください。
・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
・ゴミ 1 個を 10kg 以内にこん包して出してください。

五城目町清掃センター TEL52-9904



善 意

（敬称略）

▽広域体育館へ寄贈

・下足箱二基

仲町 小森繁三郎

（広域体育館エントラスⅡ正面玄関に設置）

▽雀館児童館へ寄贈

・雑誌四十七冊

小池町 渡辺紘一郎

▽五城目小学校、馬場目小学校、杉沢小学校、富津内小

校、四月十二日



善 意 銀 行

（敬称略）

四月七日

石崎 伊藤卓治

（亡母シマ様の香典返しとして）

四月十二日

四月十二日

学校、内川小学校、大川小

学校に寄贈

・スミセイふれあい文庫：一

年間にわたって各校に毎月

三冊計三十六冊寄贈予定

秋田市 住友生命秋田支社

・四月十八日

十万円 浦横町 小野正一郎

（亡息子久様の香典返しとして）

・四月二十一日

三万円 畑町 三浦麗春

（亡妻貞様の香典返しとして）

・五月七日

二万円 石崎 伊藤金太郎

（亡祖母トメ様の香典返しとして）

・五月十二日

・四月十二日

三万円 館越 齊藤鴻司

（亡母ヨリ様の香典返しとして）

・四月十八日

十万円 浦横町 小野正一郎

（亡息子久様の香典返しとして）

・四月二十一日

三万円 畑町 三浦麗春

（亡妻貞様の香典返しとして）

・五月七日

二万円 石崎 伊藤金太郎

（亡祖母トメ様の香典返しとして）

・五月十二日

・四月十二日

・四月十二日

・四月十二日

・四月十二日

・四月十二日

・四月十二日